

5年4月23日(日)伊香具地域づくり協議会の役員会と定期総会が開催されました。
 今年度はコロナの行動制限も緩和され通常の対面での集会が開催されました。
 令和4年度事業報告、令和4年度収支決算報告が行われ承認されました。
 また令和5年度に実施される事業計画も承認されました。

伊香具地区地域づくり協議会役員

令和5年度 予算案

今年度役員の方です。		
役職名	氏名(敬称略)	任期
会長	三家 有幾男	①
副会長	服部 昇司	②
監事	横関 悦男	③
	二宮 和彦	④
理事	清水 英生	①
	今井 誠	①
	高橋 洋史	①
	赤井 秀昭	①
	三家 有幾男	①
	西嶋 沙代	①
	内貴 正彦	①
	林 源栄	①
	笹次 守	①
	布施 健志	①
	二宮 正樹	①
事務局長	谷口 高史	①
	二宮 邦剛	②
総務委員会	委員長 横関 幸博	②
	副委員長 内貴 正彦	
子ども支援委員会	委員長 二宮 保	②
	副委員長 横関 康正	
健康福祉委員会	委員長 三家 清隆	②
	副委員長 横田 茂隆	
産業観光委員会	委員長 中居 久昭	②
	副委員長 林 法生	
任期①	2023年3月～2024年2月	
任期②	2022年5月～2024年5月	
任期③	次期定期総会まで	
任期④	定期総会まで	

収入の部		
(単位 円)		
科目	金額	摘要
前年度からの繰り越し	92,813	
地域づくり交付金	423,000	令和5年度地域づくり交付金 (内訳) 均等割額 350,000 世帯割額 200円×366戸= 73,000
地域づくり一括交付金	72,000	自治会宛文書引き渡し業務の受託
合計	587,813	
支出の部		
(単位 円)		
科目	金額	摘要
事務費	60,000	事務用品、通信連絡費等
会議費	30,000	総会、役員会、三役委員長打ち合せ 委員会経費等
文書配達業務費	50,000	業務委託費
諸負担金	5,000	長浜まちづくり連絡会会費
事業費 総務委員会	100,000	広報誌発行、防災訓練 防犯灯電気代、レンタルサーバー等
子ども支援委員会	100,000	スクールガード、除雪等経費
健康福祉委員会	100,000	転倒予防教室、お楽しみ弁当
産業観光委員会	100,000	桜ライトアップ、景観維持活動、 獣害対策等
予備費	42,813	
合計	587,813	



赤尾集会所での総会

防災訓練のご案内

★ 大勢の皆様に参加お待ちしております。
 昨年に続き、参加制限ありません。
 実施内容は長浜市防災危機管理局の方と打ち合わせしていきます。
 ただ、日程だけは決めています。スケジュール調整お願いいたします。

- 日時 **10月22日(日) 雨天決行(荒天は中止)**
- 実施時間 13:30～15:00
- 場所 伊香具小学校 (なかよし広場・体育館)
- 内容 防災講座など 長浜市防災危機管理局と検討中

伊香具地区地域づくり協議会・委員長、総務委員合同会議が7月16日(日)に開催されました。

議題は1・地区防災計画支援事業について と 2・買物支援事業「移動販売」についての2点でした。

1. 地区防災計画策定支援事業について

先に6月25日(日)三役会議で当事業の趣旨説明を行い、取り組んでみようとの結論になりました。そこで各自治会長を交え会議をおこない「実施」の了解を得ました。伊香具地区全域の「チーム伊香具」での大規模災害時の助け合い防災体制を構築していこうとの取り組みが決定しました。



長浜市防災危機管理局の安原氏より説明を受ける。赤尾集会所にて

<地区防災計画策定支援事業とは>

滋賀県・長浜市が提案する支援事業です。

大規模災害が発生すると行政の救助活動が広域になり被害が甚大な地域に

集中します。そうなりとくらくら待っても消防・救助隊がきません。手一杯の行政の救助を待っている訳にはいきません。

そこで自分たちの地域・命は自分たちで守ることが必要になってきます。そこで、いざ災害が起こった時に機能的に

的確に即座に対応できる地域組織が求められます。そのためには伊香具全体の防災計画をしっかりと作らなくては

なりません。その計画を専門家などのアドバイスや行政の支援を受けて、地域の皆さんが主体となった取組をして

いきます。計画のひな形はありません。土砂災害を想定しての計画を考えています。みんなで作っていきます。

現在長浜市ではまだこの支援事業に参画しているところはありません。高島市の104地区が積極的に参画しています。

伊香具小学校で結ばれた当地区は団結力もあり長浜市から参画の打診があり手をあげました。

複数年かけて実行力・継続力ある計画にしていきたいです。またこの計画に則した訓練も定例化していきたいです。



地区防災計画とは
地域コミュニティにおける「共助」を推進する制度

【効果・目的】

- ・居住地域の災害リスクを把握する機会になる。
- ・「自分の命は自分で守る」や「地域を手助けする」という能動的な意識改革のきっかけになる。
- ・取組の中で顔の見える関係となるため、防災だけでなく、まちづくりとしての要素もある。
- ・計画を市町地域防災計画に定めるように提案することで、行政との協業がうまくいく。

事業の概要

【目的】

地区防災計画の策定により、住民一人ひとりの防災意識や地域住民間の

「共助」の意識を向上させるとともに自主防災組織をパワーアップさせる。

【取組概要】

- ①地域住民と行政関係機関、専門家と一体となって推薦地区の地区防災計画の策定に取り組む。
- ②「滋賀県地区防災計画策定の手引き」の更新や策定アドバイザー育成研修会の実施により、地区防災計画の策定を推進させる。

2. 買物支援事業「移動販売」について

社会福祉協議会より移動販売車による買物支援のお話がありました。

アンケートで今後、買物に行けなくなるなど不安だという人が伊香具では高く

同じく高い浅井町ですすでに移動販売車が稼働しており好評です。

週に一度くらい予定の時間に20分間くらい各地域の指定された場所にきます。

軽トラックに惣菜や加工品、菓子、日用品など積んで販売します。

売上が少なくても自治会には責任ありません。販売車が停まる場所を提供してもらいます。

買物の利便性だけでなく、地域のサロン化や独居老人の安否確認の副次的効果も期待で

きます。そこで移動販売車の実現をしたいと考えております。伊香具地区全域で移動販売

車の巡回を期待します。

アンケートに
ご協力お願いします

伊香具地域づくり協議会のホームページをご覧ください



書面での総会の議事内容や

いままでの活動内容など

ホームページに入れてあります。

一度ご覧になって下さい。

また共有したい事柄やニュース・

ご意見ご要望あればどうぞ

お知らせください。ホームページの

内容充実をはかっていきます。

スマホからQRコードを撮ってもらうのが簡単です。

ホームページのURL <https://www.ikagu-comm.org/>

ダウンロードのパスワード R4-ikagusoukai